

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年12月22日更新

事務事業名		市バスの維持管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☒ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	総務部	課長名	岩田 建一
	施策	5	健康づくりの推進			所属課	総務課	担当者名	小西靖浩・管澤徳子
	施策の柱	19	病気になるない生活習慣の確立			所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1218
予算科目		会計一般	款2	項1	目1	事業連番11503	根拠法令	合志市バス管理及び使用規程 成果優先度評価結果：① コスト削減優先度評価結果：⑥	
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	1.市バスによる各福祉施設への送迎2.市が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎3.その他市長が必要と認める事業の送迎を行う事業。旧合志町では各種委員及び職員研修等の際の使用として、旧西合志町では福祉施設利用者の便宜を図るため福祉施設利用者の送迎、各種委員及び職員研修等の際の使用として運行していた。合併時に2台となり旧西合志町の福祉施設利用者の送迎、地域サロンの行事の送迎、市の行事の送迎の使用目的に統一した。区・自治会や地域の老人会の福祉施設利用の増加、また、地域サロン等の利用の増加により利用が増えてきている。ただし、白バス規制との絡みがある。H20.3.3「バス管理及び使用規程」を見直し、研修等の使用の際、使用者負担としていた道路通行料、駐車場料金及び運転手の宿泊費等のほかに、指定地域(片道直線で25km)を超えて運行する場合、ガソリン代の負担を追加した。また、使用の範囲の(3)、その他市長が必要と認める事業で使用する場合の適否の判断を関係課で行うこととした。補助団体の使用の際は上記を徹底している。
【業務の流れ】	使用申請者が所定の申請書により申し込み、運行計画に添ってバスを運行する。
【主な予算費目】	【款】2 総務費 【項】1 総務管理費 【目】1 一般管理費 【節】3 職員手当、11-3修繕料、11-5燃料費、12役務費、27公課費
【意見や要望】	各種団体(学校の部活やクラス会等含む)から利用できないかとの問い合わせが来ている。各種団体からは関係課を通じての申請をするのがわずらわしいとの声もある。各種団体や行事での土日の利用も増え、運転手の時間調整及び振替等が必要となっている。関係課とのバス利用に関しての協議を行った。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO) 各区・自治会老人会や各種団体の福祉施設への送迎、社会福祉協議会の各地域サロンの行事の送迎及び市や市に關係する団体が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎を行い、住民福祉の向上に努めた。 所有する2台のバスで、年間〇回運行し、延べ〇人の利用があった。		29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同様各区・自治会老人会や各種団体の福祉施設への送迎、社会福祉協議会の各地域サロンの行事の送迎及び市や市に關係する団体が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎を行う。申請者の責任を明確にするように協議してきた。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア バス運行回数	回	実績に伴う時間外勤務手当の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等利用したいと思う団体	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
	件	→ア 申請件数
	人	→イ 利用者数(延べ)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)団体が申請書どおり利用できる。	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
	件	→ア 福祉施設を利用した申請数
	人	→イ 同 利用者数(延べ)
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画～年度
各区・自治会老人会や各種団体の福祉施設への送迎、社会福祉協議会の各地域サロンの行事の送迎及び市や市に關係する団体が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎を行うことを目的としており、その主な福祉施設利用者数等を成果指標とした。		0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア回		293	256	350	196	350	350	350	350
	イ									
② 対象指標	ア件		293	256	350	196	350	350	350	350
	イ人		6,467	5,998	8,000	4,193	8,000	8,000	8,000	8,000
③ 成果指標	ア件		28	17	50	13	50	50	50	50
	イ人		526	240	1,000	239	1,000	1,000	1,000	1,000
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	千円	2,901	2,707	3,272	2,332	3,169	3,169	3,169	3,169
		(A)のうち指定経費	千円	2,901	2,707	3,272	2,332	3,169	3,169	3,169
		(A)のうち時間外、特勤	千円	1,176	1,031	1,227	849	1,192	1,192	1,192
	人件 費	(A)のうち時間外、特勤	千円	31	12	53	12	18	18	18
		正規職員従事人数	人	4	3	6	4	6	6	6
		延べ業務時間	時間	1,942	1,887	1,800	1,907	1,800	1,800	1,800
	(B)人件費計		千円	7,736	7,006	7,171	7,126	7,171	7,171	7,171
トータルコスト(A)+(B)		千円	10,637	9,713	10,443	9,458	10,340	10,340	10,340	

事務事業名	市バスの維持管理事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 合志市バス管理及び使用規程に基づき送迎することで目的が達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 使用に関し、市民に周知することで、更に利用回数を増やすことができるが、規定に沿わない申請がある場合がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 各種団体、地域団体が利用する福祉施設利用者の送迎は目的地等が合志市循環・巡回バスの目的地と合致するものがあるので調整検討が必要である。また、各地域サロン事業は社会福祉協議会の事業であるので調整検討が必要である。そのほかには学童クラブ等の利用がある。今後は利用団体や使用目的等を併せて調整検討しなければならない。今後も関係機関との協議を行っていく。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 バスの管理費のみである。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 送迎等に要する最低限の時間である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 施設利用者が全市民対象であり、適正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 利用状況は各種団体、地域団体が利用する福祉施設利用者の送迎は目的地等が合志市循環・巡回バスの目的地と合致するものである。また、各地域サロン事業は社会福祉協議会の事業である。そのほかには学童クラブ等の利用がある。今後は利用団体や使用目的等を併せて調整検討しなければならない。今後も関係機関との協議を行っていく。

3 評価結果の総括 (CHECK)

利用状況は各区・自治会老人会や各種団体の福祉施設への送迎、社会福祉協議会の各地域サロンの行事の送迎及び市や市に関係する団体が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎を行っており、高齢者の外出支援ができ健康づくりの推進に寄与している。
H24年度に、エアロバスの耐用年数が過ぎたが、まだ充分に使用できることから、ギアシフトユニットを修理をし運用することとした。巡回バス、レターバスとの連携の検討が必要。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 各種団体、地域団体が利用する福祉施設利用者の送迎は目的地等が合志市循環・巡回バスの目的地と合致するものがあるので調整検討が必要である。また、各地域サロン事業は社会福祉協議会の事業であるので調整検討が必要である。そのほかには学童クラブ等の利用がある。今後は利用団体や使用目的等を併せて調整検討しなければならない。今後も関係機関との協議を行っていく。		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	○																					
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 すでに耐用年数を経過した三菱エアロバスは、今後重大な故障が発生し、多額の修理費が見込まれる場合には運用を止め、市バスは1台での運用とする。これで運転業務に係る人件費（報酬）や車両メンテナンスの費用が削減できるが、一度に30名を超える運用が必要な際は、利用者負担による別車両の手当てが必要になる。																							